

各市町村の体制や取り組みの工夫の共通点

取り組みの特徴の共通点

- 個別の健康施策に取り組む中でSWC首長研究会※への参加、SWC総合特区指定をきっかけとして総合施策へと転換。重要施策として位置づけ条例制定等を実施
- 中活と連動した健康づくりイベント、地域活動への参加促進など、ソフト施策も活用して取り組みを推進

体制の共通点

- 市長・副市長をトップとする会議等の全庁体制の整備
- 実務担当者による庁内横断の調整会議等の設置
- 担当部署は健康部署、市長直轄・企画部署に設置

取り組みの工夫の共通点

- 庁内の情報の収集・交換、意見照会、実務者の調整会議、部署間の協議等を実施し、健康施策を具体化
- 中心市街地活性化等との連携による健康づくりの機会(イベント)への参加促進、まちづくりや河川整備と連携した施設整備を推進。地域の団体等とも協働関係を構築
- 健康づくり担当として地域で活動する保健師を起用



連携の効果

- 健康施策を考慮した施設整備(道路、サイン等)が実現
- 他施策(中活)との相乗効果によりイベント等の健康づくりの機会への参加者数が増加
- 住民にとって身近な存在である保健師からの告知により、健康づくりイベント等への参加者数が増加

【伊達市】

- 特徴: 健幸都市基本計画を策定し庁内外と協働して推進
- 体制: 市長直轄の部署の設置/関係部署による定例会の実施
- 工夫: モデル地区の取組をワークショップ等で住民参加を促進しつつ推進
- 連携効果: 健康づくりを重視したまちづくりへの理解の高まり



【三条市】

- 特徴: 歩くことを基本とした多様なまちづくり事業の推進
- 体制: 保健福祉部にスマートウエルネス推進室を設置
- 工夫: 中活、高齢者の生活利便向上施策と連動させた施策展開
- 連携効果: 健康づくりの観点から中活に取り組み、中活イベントの来訪者の健康づくり面で成果(歩行距離)



【見附市】

- 特徴: 市の重要施策として分野間連携で推進
- 体制: 担当を企画部門に設置し、庁内連携を円滑化
- 工夫: 市長直結の体制を整備/各課の担当事業の明確化
- 連携効果: 地域コミュニティづくり等のSWC関連施策を全庁挙げて推進する体制と職員の意識づけを実現



【岐阜市】

- 特徴: 2つのエリアでハード、ソフト事業を重点的に展開
- 体制: 推進本部の設置。健康部に担当を設置
- 工夫: 中活、河川等の他部署の事業との連携を積極的推進
- 連携効果: イベント連携による集客効果
河川防災・健康ステーションの実現



【豊岡市】

- 特徴: 総合健康ゾーン整備と健康を重視した施策の推進
- 体制: 推進本部を設置。健康増進課に担当を設置
- 工夫: 実施予定施策を整理した戦略体系図を作成し庁内で認識を共有
- 連携効果: 旧まちづくり交付金の活用による総合健康ゾーン整備



中心市街地活性化

各市町村の体制や取り組みの工夫の共通点

取り組みの特徴の共通点

- 都市のコンパクト化、中心市街地の空洞化対策の取り組み
- 新市長の公約や中心市街地活性化基本計画の認定に向けた取り組みをきっかけに施策の重要度が高まり、一層積極的に取り組みを展開

体制の共通点

- 施策の重要度の上昇に対応して担当部署を設置、部局横断的な体制整備を実施し、全庁体制を強化
- 担当部署は、都市・建設部署、商工部署のいずれかに設置されているが、設置部署に関わらず庁内連携の中心として関係部署との協議・調整を積極的に実施

取り組みの工夫の共通点

- 体制整備等により庁内に意識を浸透させ、役割を明確化することで、庁内で横断的に連携して施策を実施
- 地域活性化に資する施設整備、まちづくり会社等との連携により、地域主体の持続的な取り組みを推進
- 施策に対する市民の理解を得るため、実績・効果等のデータを用いて施策の重要性を市民に説明



連携の効果

- 重要施策として施策間連携によりハード、ソフトの施策を進めた結果、居住、集客等の効果が見られるほか、市民、事業者等の中心市街地に関する認識（関心）が向上
- 地域を主体とした取り組みが活発化

【富山市】

- 特徴：コンパクトシティ施策と中心市街地での効果
- 体制：都市整備部に担当を設置。まちづくり会社と連携
- 工夫：官民協力の施設整備（グランドプラザ）/施策効果の市民への説明
- 連携効果：賑わい創出拠点の整備/市民、事業者の施策認知度の向上



【大野市】

- 特徴：まちづくり会社と一体となった取り組みの推進
- 体制：推進本部を設置。商工観光振興課に担当を設置
- 工夫：中活計画認定に向けて体制を整備、確立し、全庁体制を強化
- 連携効果：商業、観光施策と連動した施設整備等を推進し、集客効果



【飯田市】

- 特徴：自立性の高いまちづくり会社を中心とした市街地再生
- 体制：商業・市街地活性化課が担当/まちづくり会社と連携
- 工夫：商業・市街地活性化課、総合政策部、建設部3部局の協力体制構築
- 連携効果：ハード、ソフト施策を展開し、商業施設等の立地、集客効果を創出



【府中市】

- 特徴：統合小中学校の整備をきっかけとした取り組み
- 体制：まちづくり部に産業活性課、まちづくり課を設置
- 工夫：担当課を同じ部に集約/中活協議会を中心に民間主体の取り組み
- 連携効果：地元の多様な活動に対して柔軟な対応、サポートが可能



【日向市】

- 特徴：連立事業、区画整理事業等を複合的に推進する体制
- 体制：建設部に担当を設置。関係課会議を定期的実施
- 工夫：担当部署は商工分野も担当/事業者、団体等と連携
- 連携効果：地元の市民らが企画するイベント等による賑わいの創出



【大槌町】

- 特徴: 住民参加、外部機関の協力、CM方式の活用による取り組み
- 体制: 学識経験者と連携し、大槌デザイン会議・地域復興協議会を開催
- 工夫: 中心市街地再生プロジェクトチームの設置
町丁目単位のワークショップの開催
- 連携効果: 地元合意を図りながら分野横断でまちづくり計画を具体化

【南三陸町】

- 特徴: 高台移転のコンパクトなまちづくりと復興事業マネジメント
- 体制: 住民主体のまちづくり協議会、民間へのマネジメント業務発注
- 工夫: 連絡調整会議の設置により定期報告・調整を実施
- 連携効果: 各部署間の調整方法が明確化

【石巻市】

- 特徴: 円滑な推進のための組織改編、庁内検討体制の構築
- 体制: 復興まちづくり推進会議等による有識者、関係者による協議体制
- 工夫: 対象区域の細分化等に対応した協議・調整体制の構築
- 連携効果: 協議・調整、意思決定のスピードアップ

【いわき市】

- 特徴: 復興を推進する庁内体制と官民連携による開発事業推進
- 体制: 協定に基づく官民協働体制の構築
ワークショップによる地元意見の吸い上げ
- 工夫: 作業監理会議での計画の実現性の検討や意見交換
- 連携効果: 作業監理会議での総論合意による個別手続きの円滑化

各市町村の体制や取り組みの工夫の共通点
取り組みの特徴の共通点

- 首長をトップとする復興推進本部を設立するとともに、復興を担当する部署を設置

体制の共通点

- 学識経験者や関係機関が参加する会議等を設置
- 当該地区を担当する部署の創設や、関係部署が参加するプロジェクトチームを設置
- 復興担当、インフラ担当、商工業担当等の関係部署が参加して個別の地区における計画や事業を検討する会議等を開催

取り組みの工夫の共通点

- 復興事業の進捗に合わせ、また体制強化等を目的に庁内の組織改編等を実施
- 多種多様な業務に対応し行政の人材不足を補うため、CM方式の採用、コンサルタントへのマネジメント業務発注
- 地域との協議等を円滑に推進するため、コーディネーターとして学識経験者やコンサルタントを活用


連携の効果

- 実務的な協議、調整の場の設置、外部機関（UR都市機構、コンサルタント）との連携等により、多様な事業を対象とした庁内外の協議・調整、会議運営等を円滑に実施
- 既存の自治組織等がない地区でも、地元の理解を得ながら協議や合意形成を進め、スムーズな事業実施を実現